

事業名	自主防災組織育成事業
-----	------------

総事業費	2,747 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	防災・危機管理の充実
	基本事業名	自助・共助の強化

② 実施 (Do)

事業の意図		被害の軽減を目指す
事業の実績 と 成果	取組内容	防災出前講座等の実施による防災教育 安城校区防災会の防災倉庫及び防災備品の設置
	成 果	児童をはじめとする地域の防災意識の向上が見られた。特に現和校区では、地震・津波に対する関心と意識が非常に高くみられた。 榕城・現和・住吉小学校児童を対象に防災教室を実施できた。 コミュニティ助成事業を活用し、安城校区防災会に防災倉庫と資機材を設置することができた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	自主防災組織そのものの強化と、自主防災組織と消防団等による連携強化、訓練実施が求められる。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	防災関係研修会の受講者を増やすなど住民への防災意識向上を促し、まずはモデル地区での本番に向けた組織体制の確立に取り組む必要がある。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	自主防災組織連絡協議会を活性化させ、消防団との連携がとれるような仕組みづくりを行う。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	安城校区防災会、防災倉庫・防災備品設置

事業名	小型動力ポンプ購入事業
-----	-------------

総事業費	4,180 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	防災・危機管理の充実
	基本事業名	自助・共助の強化

② 実施 (Do)

事業の意図	火災発生時の初期消火対応力の維持・向上	
事業の実績 と 成果	取組内容	仕様書作成、入札契約審査委員会、入札、契約、納品、検査、支払い等の事務を行った。
	成 果	更新により、小型動力ポンプの能力が向上した。 更新（安納分団 B－3級、国上分団 B－3級 各1台）

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	他の更新が必要となる小型動力ポンプについても対応が必要である。 また、火災出動については年間件数が多くなく現場での使用機会が少ないため、定期的な消防訓練や機器点検等が必要である。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	小型動力ポンプの整備により、初期消火の消防力の増強を図ることができた。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	小型ポンプについては、計画的（導入後20年毎）に更新を行う。
-----------	--------------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	小型動力ポンプ更新完了（安納・国上分団：B－3級）

事業名	消防車両購入事業
-----	----------

総事業費	11 千円
------	-------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	防災・危機管理の充実
	基本事業名	自助・共助の強化

② 実施 (Do)

事業の意図		火災発生時の初期消火対応力の維持・向上
事業の実績 と 成果	取組内容	仕様書作成、入札契約審査委員会、入札、契約、納品、検査、支払い等の事務を行った。 ※令和2年度は消防庁無償貸付車両導入に変更され、入札等は実施されなかった。
	成 果	更新により、下西分団消防車1台（小型動力ポンプ付積載車→救助用資機材搭載型小型動力ポンプ積載車）の能力が向上した。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	他の更新が必要となる消防車両についても対応が必要である。 資機材の更新に伴い有効性を高めるため、消防団への取り扱いや管理方法、作業時の安全について 訓練・指導等を適切に行うことが必要となる。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	消防車両の更新により、消防力の充実に図ることができた。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	消防車両については、計画的（20年毎）に更新を行う。
-----------	----------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	令和3年3月28日 （下西分団 救助用資機材搭載型小型動力ポンプ積載車）

事業名	消防団救助能力向上資機材緊急整備事業
-----	--------------------

総事業費	3,669 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	防災・危機管理の充実
	基本事業名	自助・共助の強化

② 実施 (Do)

事業の意図	大規模災害時には、同時多発的に救助が必要なケースが発生した場合、消防署では対応できない場合も消防団が救助等できるよう配備する。	
事業の実績 と 成果	取組内容	仕様書作成、入札契約審査委員会、入札、契約、納品、検査、支払い等の事務を行った。
	成 果	資材を配備することにより、災害時等の救命救助能力が向上した。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	資機材の適切な管理運用を行うこと。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	資機材整備等により災害時での対応力の強化を図ることができた。今後は、資機材の使用方法的講習等も必要となる。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	資機材の維持管理を行う。
-----------	--------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明